

中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第4号
令和2年7月1日発行

学校教育目標

「なかよく かしこく たくましく」

三つの約束

- あいさつ
- 整理整頓
- 時間を守る

1年生	41名	4年生	42名
2年生	42名	5年生	57名
3年生	51名	6年生	59名
児童数	5組		6名
全校児童数	298名		

新しい時代に夢をもって豊かに

校長 仲田 智宏

通常登校が始まり、子どもたちの笑顔が戻ってきました。6月22日の子どもたちの表情は、とても素敵でした。校舎内を見回していると、喜びのあまりどうしても子ども同士の距離が近くなるのが心配ですが、今までにはなかった子どもたちの笑顔に、感動を覚えます。中富小の子どもたちの本当の姿を見ました。新しい生活様式の指導は、担任が繰り返し行っていきますので、ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

緊急事態宣言が解除になったとはいえ、まだまだ感染の可能性が高い状況には変わりはありません。治療のために、医療現場の最前線で戦っている多くの方々があります。そうした中、学校として考えることは、感染防止対策はもちろんのこと、感染者が出たとしても決して差別や偏見をしてはいけないということです。人権を大切にすること、命を奪ういじめは許してはいけないこと、それと同じです。差別や偏見がまかり通ることはあっていけません。中富小では、すべての人々が助け合い励まし合い、共にこのコロナ禍を乗り越えてまいりたいと思います。

教室を見回っていますが、各クラスで子どもたちの学習が進んでいます。ある学年の外国語の授業の様子です。担任、AET、外国語活動支援員と3人の先生がいます。子どもは笑顔、楽しい雰囲気です。いろいろな人と交流しながら学びを深めて欲しいです。

1・2年生は、5時間で下校しています。下校指導で校外に出ていた教員たちが戻ってきました。私は2階のベランダから様子を見ていました。すぐに校舎に戻ってくると思いきや4人の担任は体育の見学を始めました。ちょうど6年生がリレーをするところでした。一生懸命に走る6年生に声援を送っています。

この光景を見て嬉しくなりました。学年や学級の枠を超えて、子どもと教師がふれあい、子どもを認め励ます。これが中富小の授業です。

臨時休業期間が3か月間に及びました。夏休みや冬休みを短縮しても授業の時間数は足りません。給食がない期間も、午後の授業を行いますので、お弁当を持参することになります。保護者の皆様には、大変なご負担をおかけしますが、子どもの学習保障を第一に考えてのことですので、よろしくお願いいたします。さらに6年生については、今年度の指導内容を来年度に繰り越すことができませんので、さらにお弁当持参の日を多く設定いたします。行事を中止した分は、授業に充てます。ご協力よろしくお願いいたします。

先日、6年生の学年集会で話す機会がありました。「コロナ禍で残念なことも多いかもしれませんが、この時代の最先端に行くのは6年生です。残念と考えるより、新しい時代をつくることに誇りを持ち、学校生活を豊かにして欲しい。」と話しました。コロナウイルスの影響で、時代はさらに加速して進みます。新しい時代に夢をもって生きて欲しいです。

静かに味わう

3か月近く経って、中富小自慢の給食をやっと食しました。味や匂いがよいのはもちろんのこと、食材の歯ごたえまで工夫が凝らされています。旬の食材のよさを最大限に引き出し、さらに美しさも追求しています。「真っ白なスープに映えるみどり」感動です。この食へのこだわりとプロの技は、教育への熱い思いからではないでしょうか。

今給食は、会食せずに前を向いて食べています。こういうときだからこそ、一つ一つの料理を味わい、喜びを感じて欲しいです。